

記者会見連絡票

所属部署（ 高齢課 ）

タイトル
さくら市「マイエンディングノート」の作成について
概要（発表内容を簡単に記入してください。）
人生100年時代。日本全国には100歳以上の方が男性約8,400人、女性約61,500人います。「マイエンディングノート」を自分らしく生きるためのきっかけづくりとして作成しました。 6月10日から市役所高齢課、喜連川支所市民生活室で配布します。
内容（発表内容のポイントを記入してください。別紙資料でも可能。）
平成30年度よりさくら市は株式会社ホープとさくら市終活支援ノートの発行に関し、官民協働の趣旨に基づき、協定を締結しています。 本ノートは、冊子の編集、印刷製本等に係る費用は、協働事業者が全額負担し、さくら市は一切負担を行っていません。（地元企業からの広告収入を活用し、市民配布の本ノートを無償作成） 制作にあたって、さくら市在宅医療・介護連携推進協議会で実施したアンケートで「あなた自身のこれからの生き方について家族と話し合ったことはありますか」の問いに約7割が「ない」との回答でした。しかし、「ない」との回答者のうち、約8割が「話し合ってみたい」との回答であり、改めて自分自身の気持ち（医療・介護・死生観など）を伝えるきっかけがないことがわかりました。エンディングノートは、「死」への注目だけではなく、自分を見つめ、自分らしく生きるためのきっかけづくりです。市民を対象にした「エンディングノート活用講座」を実施し、これまでの人生を受け入れ、これからの人生を考えるきっかけづくり、家族と話しあうきっかけづくりとし活用できればと考えています。
本件に関する報道機関からのお問い合わせ先（所属、担当者、電話番号）
健康福祉部高齢課 地域包括ケア推進係 TEL028-681-1155

※ 1案件ごと1枚作成してください。